

政府（内閣総理大臣他）に意見書を提出

年金制度改善を求める意見書

賛成13人 反対2人

1. できるだけ早く、全額国庫負担の最低保障年金制度を創設し、無年金者や低額の年金者を無くして、すべての国民が安心して暮らせる年金制度を確立すること。
2. 基礎年金の国庫負担割合を直ちに3分の1から2分の1に増額し、全額国庫負担をめざすこと。
3. 年金財政の巨額な積立金を計画的に活用し、保険料・掛金の引き上げ、支給額の切り下げの年金法の実施を中止し、物価スライドによる年金額の切り下げを元に戻すこと。
4. 年金受給者の生活を破壊する高齢者控除の廃止と公的年金等控除の縮小をやめて元にもどすこと。



年金問題は切実

道路整備の促進及び財源の確保に関する意見書

賛成13人 反対2人

- 一 国民が期待する道路整備を計画的かつ着実に進めるため、受益者負担という道路特定財源制度の趣旨に反することなく、必要な財源を確保すること。
- 一 今後の具体的な道路整備の姿を示した中期計画を作成するにあたっては、地域間格差への対応、安全・安心の確保、豊かな生活環境の創造等の観点から、国民の道路整備に対するニーズを幅広く汲み



道路の整備

- 一 取るとともに、国民の期待に応えるべく、道路整備を計画的かつ着実に推進すること。
- 一 我が国の成長力や地域経済の強化を図るため、国土の根本的な社会資本である高速自動車道については、必要な道路を着実に整備するとともに、料金の引き下げなどの既存ネットワークの効率的活用・機能強化のための措置を講じ、利用者の利便性向上に努めること。
- 一 今後、高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、道路網の安全性及び耐久性が確保されるよう、適時適切な修繕等による効率的な道路ストック管理を行うこと。

反対

永田和彦議員
道路を使い車を動かせば関連した被害も生まれる。国会では高齢者医療費負担増・障害者自立支援法の見直し、年金も問題になっている。

反対

荒木俊彦議員
熊本・大分間の高規格道路計画は、二重の峠の下にトンネルを掘るだけで8億円もかかる。高度経済成長のときのようにはいかない。

討論

上記・道路財源について

賛成

石原大成議員
大津町において、国道57号線の4車線化早期完成や都市計画道路など道路整備の必要性は高い。また、既存道路の適正な維持管理のためにも道路整備の財源確保は重要である。

賛成

大田黒英生議員
大津町にはいろんな工場、進出企業があるが、決して町の道路事情は良いとはいえない。

現在、県道瀬田竜田線は、大林地区において、契約はできているが、県の財政が厳しいため、いつ着工できるか見通しがつかない状態である。このような町の事情があるので、意見書に賛成する。